

Kawanishikita  
川西北小地域

キャッチフレーズ

温故+知新=自然・支え合い・あいさつでつなぐ

かわにしきた  
永寿のまち“川西北”

現状 1 地域の現況と人口推計

(1) 位置と地勢

川西北小地域は、市中心部の北側に位置し、公共施設が集中した利便性の高い地域です。南北には県道川西篠山線、能勢電鉄が通っています。地域の東側には猪名川が流れ、五月山を望むことができます。

現在、中央北地区整備事業が進んでおり、地域の姿は大きく変わりつつあります。



(2) 人口と世帯

人口は、平成 17 年の 9,988 人から平成 22 年の 9,781 人まで 5 年間で 2.1%減少しました（全市では、0.1%増加しています）。

年齢別人口割合は、35～39 歳が最も多く、続いて 40～44 歳、65～69 歳が多くなっています。【左下図】

世帯数は、平成 18 年が 4,354 世帯、平成 23 年が 4,474 世帯と 5 年間で 2.8%増加しています（全市では 6%増加しています）。

地域の将来人口を推計すると、10 年後の平成 34 年にはおおむね 10,500 人となり、7%ほど多くなる可能性があります。【右下図】



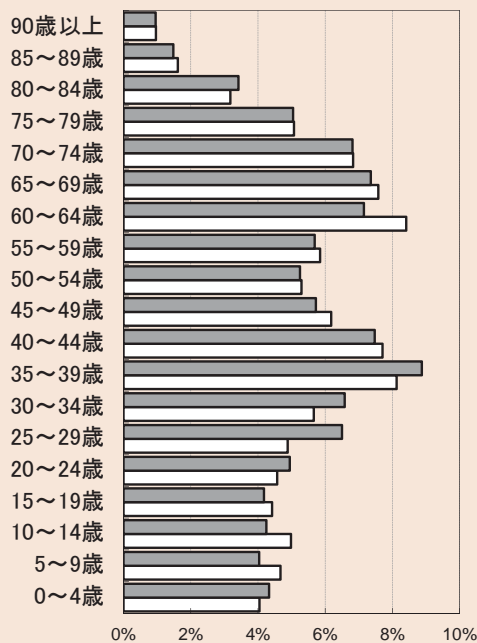
めざす地域像

川西北小地域は、市中心部に近く利便性の高い地域です。また、勝福寺古墳しょうふくじこふんが存在するなど歴史を感じさせる地域でもあります。今、地域内の皮革工場跡地では、新たなまちづくりが始まろうとしています。

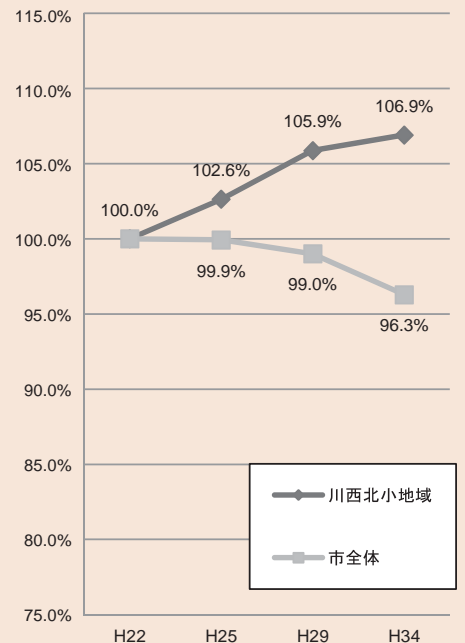
新たな市民の転入も予想され、新旧住民のコミュニケーションの向上を図ることによって地域の一体感を高め、地域の課題の解決に取り組むことが求められます。

今後は世代と新旧を超えた交流を深め、地域の魅力を高めていきます。

人口構成



将来人口推計



人口全体を母数とする割合で表示

(住民基本台帳ベース)

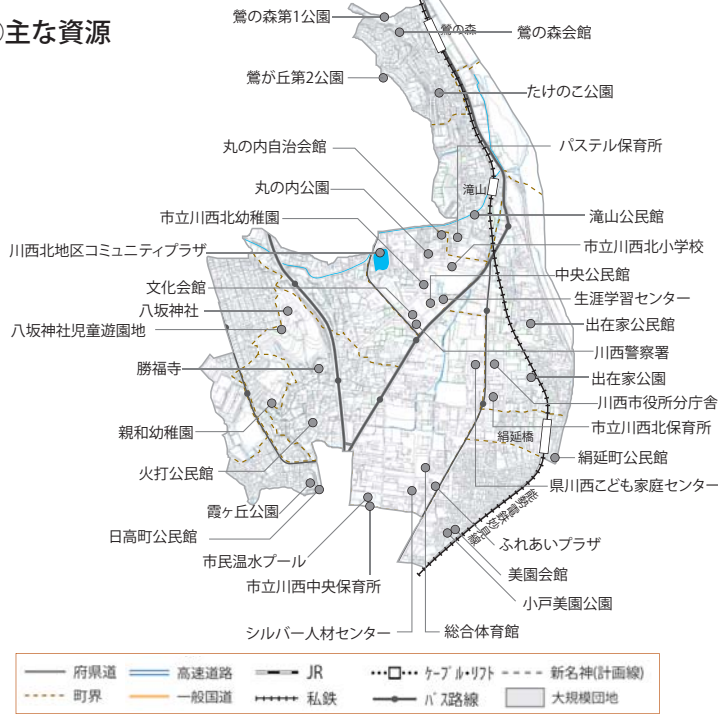
上段：川西北小地域 下段：市全体

(H23 住民基本台帳)

## 現状 2 地域の主な資源・地域活動と意識

### (1) 地域の主な資源・地域活動

#### ① 主な資源



#### ② 主な地域活動

- ・北小わんぱくクラブ（子育て支援）
- ・公園清掃
- ・子ども神輿の巡行
- ・盆踊り、火打ち
- ・防犯巡回活動
- ・ふれあいサロン
- ・カラオケ
- ・高齢者のサポートチームの自助組織\*化
- ・焼き芋大会（高齢者と子どもの交流、子どもが火を体験できる）
- ・他市の自治会との共同行事（夏まつり、文化祭等）

### (2) 市民意識調査（川西北小地域集計）

#### ① 定住意向

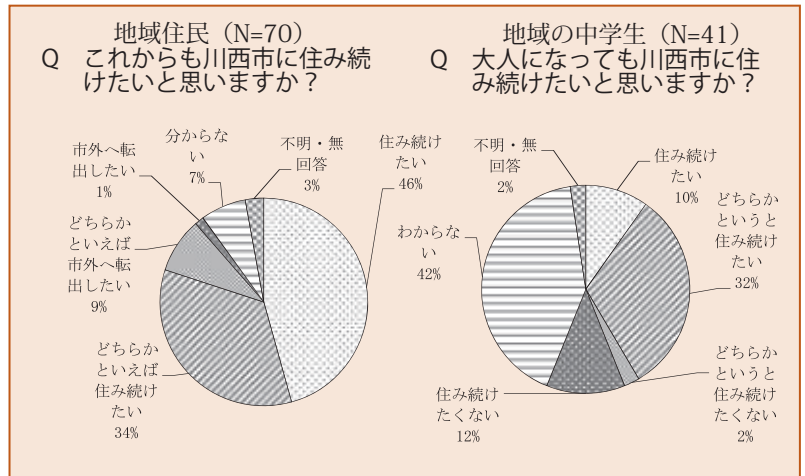
「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、80%となっています。

一方で、中学生は 42%となりました。

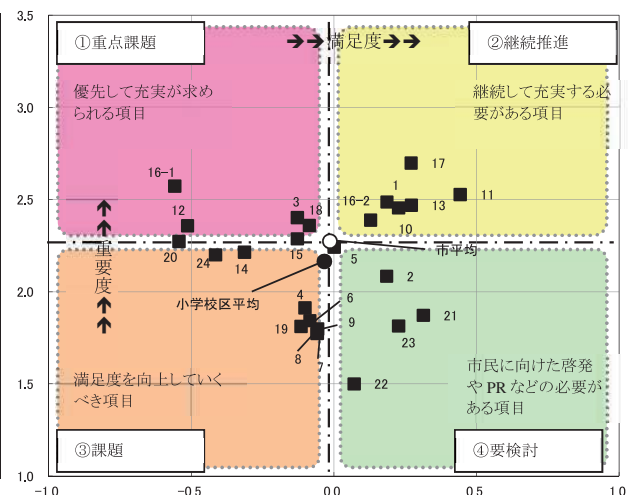
#### ② 施策の重要度・満足度

重点課題として「交通施設の整備」「高齢者の支援」が挙げられています。

また、継続推進すべきこととして「防災力の向上」「省資源・リサイクル」などが挙げられています。



① 重点課題	② 継続推進
3.高齢者の支援	1.健康づくりの支援
12.公園・みどりの整備	10.環境の保全
15.市街地整備	11.省資源・リサイクル
16-1.交通施設の整備	13.上水道の安定供給
18.生活安全の推進	16-2.公共交通の利便性向上
	17.防災力の向上
③ 課題	④ 要検討
4.障がい者の支援	2.地域福祉の推進
6.低所得者福祉	5.子育て支援
7.学校教育環境の整備	21.観光の振興
8.青少年の育成	22.共感・共生のまちづくり
9.生涯学習・文化の振興	23.参画と協働のまちづくりの推進
14.都市計画の推進	
19.産業の振興	
20.労働環境の向上	
24.効率的な行財政の運営	



## 地域の課題とありたい姿

## 地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、川西北小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ（第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ）に整理・集約すると、次のようになります。

## 暮らし

## ◆…主な課題…◆

- ・ 駅まで遠くバスの便が悪いため、自転車を利用する人が多いことから、自転車がもっと走りやすい道路に改善する必要がある
- ・ 地元であるにも関わらず、中央北地区の整備構想が見えてこない

## ◆…地域のありたい姿…◆

- ・ 移動手段が充実し、買物が便利な利便性に富んだまちにしたい

## 安全安心

## ◆…主な課題…◆

- ・ 日常生活に対する支援など、高齢者が安心して暮らすことのできる環境整備が必要である
- ・ 災害時はもちろんのこと、日常生活における安全・安心の確保が必要である
- ・ 増加しつつある空き家について、安全・安心面から有効活用を図る必要がある
- ・ 自然環境を大切にだけでなく、地域の清掃、公園の美化活動、マナーの向上など身の回りの環境を美しく保全していくことが必要である

## ◆…地域のありたい姿…◆

- ・ 高齢者や障がい者が気軽に外出できるよう、バリアフリーの環境を整えるとともに、地域のサポートの中で安心して暮らすことのできるまちにしたい
- ・ 地域の豊かな自然環境を大切に、日常の中で緑や河川に親しむことができるまちにしたい

## 生きがい

## ◆…主な課題…◆

- ・ 勝福寺古墳しょうふくじこふんや八坂神社を活用するなど伝統文化の継承が必要である
- ・ 地域の自然環境を子どもたちの育ちに生かす必要がある

## ◆…地域のありたい姿…◆

- ・ 子どもが遊べる公園や自然などが充実したまちにしたい
- ・ 子どもにとって豊かな環境を地域でつくることのできるまちにしたい
- ・ 自然、伝統、文化を守り生かすまちにしたい

## つながり

## ◆…主な課題…◆

- ・自治会活動の低迷が問題視される中、自治会活動のあり方そのものを見直す必要がある
- ・マンション住民と戸建住民との関係性が希薄化するなど、地域内でのコミュニケーションを向上させる必要がある

## ◆…地域のありたい姿…◆

- ・世代間交流が活発で、また交流の機会を多くつくることのできるまちにしたい
- ・新旧住民の垣根がなく、様々な人が交流し、お互いに助け合いができるようなまちにしたい

## 地域のありたい姿を実現するための取り組み

## 地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、川西北小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み内容を整理すると、次のようになります。

## 暮らし

- ・守りたい地域の景観マップの作成
- ・老人会主催の花見、夏祭り、餅つきなどに公園を利用する

## 安全安心

- ・地域で高齢者サポートチームを創設する
- ・高齢者などの仲間づくりのコーディネートを自治会で実施
- ・空き家の把握
- ・清掃活動の推進

## 生きがい

- ・地域全体での子育て
- ・昔遊びを子どもに教える

## つながり

- ・隣近所の人同士で、マンションぐるみで自治会加入を呼びかける
- ・婚活、出会いの場をつくる
- ・老人会活動や自治会活動のリーダー養成を行政で進める

## 市の主な関連する施策(参考)

- ・施策 1 良好な都市環境を整備します
- ・施策 4 公園を利用しやすくします
- ・施策 7 中央北地区のまちづくりを進めます
- ・施策 8 総合的な交通環境の向上を図ります
- ・施策 20 地域福祉活動の支援と促進を図ります
- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します
- ・施策 22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します
- ・施策 25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 27 生活安全の向上を図ります
- ・施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します
- ・施策 30 循環型社会の形成を促進します
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策 40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します